

箕面船場まちづくり協議会の今後の予定

10.23(土)	NPOフェスタ出展	かやのさんぺい橋に古書店が出現! 会場:かやのさんぺい橋 主催:みのお市民活動センター
10.29(土)	こども未来会議	こどもたちで未来を描くワークショップです(要申込) 時間:13:00~16:00 会場:船場生涯学習センター 後援:箕面市教育委員会 2022年度夢の実支援金交付事業
11.05(土)	GOMIで宝物をつくろう①	端材・廃材でつくるアップサイクルワークショップ 時間:11:00/12:00/13:00/14:00/15:00(5回) 会場:みのおキューズモール(キューズリビング)(申込・当日参加可) 後援:箕面市教育委員会 2022年度夢の実支援金交付事業
11.06(日)	北急「箕面船場阪大前」駅見学会	開業間近の地下ホームとトンネルを見学します(要申込) 時間:①11:00/②12:30/③14:00 定員:各回40名(小学生~中学生) 後援:箕面市教育委員会 2022年度夢の実支援金交付事業
11.18(金)	バーブリッジ	かやのさんぺい橋にBarが出現! 「箕面の未来デザインを語るBar」 主催:みのお市民活動センター
12.04(日)	GOMIで宝物をつくろう②	端材・廃材でつくるアップサイクルワークショップ(要申込) 時間:①10:00~12:00/②13:00~15:00 会場:船場生涯学習センター 後援:箕面市教育委員会 2022年度夢の実支援金交付事業

ラジオ体操にご参加ください

船場広場では平日の午前7時から地域の皆さんが参加して、ラジオ体操をしています。毎朝継続して行うことで、筋力アップや効率のいい有酸素運動ができ、シェイプアップにもつながります。(スタンプを集めて缶バッジと交換)

開催日:平日 時間:午前7時(雨天中止)



発行 箕面船場まちづくり協議会  
〒562-0035 箕面市船場東1-8-51-302  
<http://www.minohsemba.com>



・「まちづくり」についてのご意見をお寄せください  
・「まちづくり」の仲間を募集しています  
お気軽にご連絡ください



こどもデザインラボ

こどもデザインラボは、箕面船場まちづくり協議会のこども育成事業です。こどもたちの自主性・自律性・創造性・想像性・社会性を育む様々な取り組みを行います

① こども未来会議  
~未来の箕面を考えよう~

体験や観察によって気づき、こどもたちが自ら課題を見つけて、課題を解決するアイデアをグループで考えるワークショップです。未来のデザインをみんなで作ります。



申し込み



② GOMIで宝物をつくろう①  
~アップサイクル~

様々な端材や廃材を使ったものづくりのワークショップです。ワークショップを通じて地球環境やもの大切さを学び、端材を使って自由に工作することによって創造性と表現力を養います。



申し込み



③ 北急・新駅見学会  
~変わりゆくまちを探検~

2023年度末に開業する北大阪急行電鉄「箕面船場阪大前駅」のプラットホームやトンネルの中を見学し、変わりゆくまちを肌で感じ、こどもたちが未来のまちを想像します。



申し込み





## 大阪大学との交流が本格化

### 異文化国際交流がスタート! ・ ・ 留学生との交流

箕面船場まちづくり協議会のメンバーが留学生とコラボ。  
 大阪大学箕面キャンパスには、国費外国人留学生を主たる対象として、さまざまな短期集中日本語プログラムを提供している日本語日本文化教育センターがあります。ここで行われている研修留学生プログラムは、日本語・日本文化に関する分野を専攻する学部レベルの国費外国人留学生(日研生)を対象とした1年間のプログラムです。日本語の能力や技能を高めるだけでなく、日本を研究対象とした諸研究を行うのに必要な知識や実社会でも役立つ日本語・日本文化に関するさまざまな知識を身につけることを目指しています。



そのプログラムのひとつであるメイプル・プログラム「箕面についてのPBL」に箕面の市民も参加、箕面の観光や農業、船場の社会や住民文化など、いくつかのテーマで4月に市民が講義をし、その後留学生たちによる15のチームがそれぞれの研究テーマに取り組みました。船場まちづくり協議会のメンバーも講義や、研究チームのアドバイザーとして参加し、留学生と交流しました。そして7月12日の研究発表会にも参加しました。留学生も地域住民のひとりとしての意識を持って、地域のことを知り、地域と関わることができました。  
 (PBL: Product-Based Learningの略で、課題解決を目的とした対話形式の授業)

### 大阪大学「夏まつり」に地域が参加

#### まち協「文具カフェ」

2022年7月9日(土)に大阪大学箕面キャンパスの夏まつりが開催されました。箕面船場にキャンパスが移転して初めての夏まつりでしたが、学生による実行委員会は地元住民への参加を積極的に呼びかけ、船場まちづくり協議会は船場広場で「文具カフェ」を出店しました。「文具カフェ」では古書や文具の販売を行いました。古書の販売は初めての試みでしたが、多くの方のご協力で500冊以上の本が集まり、販売することができました。当日は多くの留学生も小説など日本語の書籍を熱心に選んでいました。これからもイベントの機会に古書の販売を継続していく予定です。



#### 歩行者天国

大阪大学箕面キャンパスの夏まつり当日は、大阪船場繊維卸商団地協同組合(団地組合)が「歩行者天国」を実施しました。歩行者天国は大阪大学とCOM2号館の間の公道で行われ、団地組合の組合員9社と関係先2社のテント、4台のキッチンカー(他に屋台1ヵ所)が出店し、約3,000人の来訪者で賑わいました。来年の実施も検討されています。

#### 〈寄稿〉

大阪大学では箕面キャンパスにて「大阪大学夏まつり」が毎夏開催、運営しているのが我々「大阪大学夏まつり実行委員会」です。大阪外国語大学時代から続くこのお祭りですが、今年度第41回目の開催は危機的状況でした。コロナウイルス感染拡大や3年ぶりかつ新天地での開催等、様々な理由があり、暗中模索なまま進めざるを得ませんでした。「諦めたい」と思ったことも少なくありません。しかし地域の様々な団体、企業の方々にご助力いただき、何とか無事に開催することが出来ました。「大阪大学夏まつり」を通して地域との繋がりがより密接になり、そしてご来場いただける皆様に毎年楽しみにして頂けるようになることを願っています。

大阪大学夏まつり実行委員会委員長 市村竜太郎

## シンポジウムが開催されました

### 箕面船場における文化芸術国際交流のまちづくり

船場地区が文化芸術国際交流の拠点となるためにどのような取り組みが必要なのか、箕面市主催の「箕面船場における文化芸術国際交流のまちづくりワークショップ」が開催され、船場まちづくり協議会も参加し、産官学民のメンバーで議論を行いました。昨年度から続けて7回のワークショップを実施し、船場における文化芸術国際交流のまちづくりに関する具体的な方策の検討を進めました。詳しくは箕面市のホームページをご覧ください。

<https://www.city.minoh.lg.jp/bunka/semba-bunkageinou-kokusaikouryuu.html>

また、このワークショップを終えて、2022年7月23日(土)に開催されたシンポジウムでは、各地の自治体やNPOと連携しワークショップを実施している、劇作家で演出家の平田オリザ氏を講師に迎え、「文化芸術国際交流のまちづくり」と題した講演会が開かれました。後半は私たちも参加して意見交換を行いました。平田オリザ氏の講演は今後の箕面市の芸術や文化のあり方を示唆する興味深い内容でした。なお講演内容は箕面市がYoutubeにアップしていますのでご覧ください。下のURL、またはQRコードからご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=hYCrDvMehe0>



## こどもの都市「Mini Mi~no」開催

2022年3月19日(土)・20日(日)の二日間に渡り船場生涯学習センターで「第0回こどもの都市(まち)「Mini Mi~no」を開催しました。ドイツのミュンヘンで開催されている「ミニ・ミュンヘン」をモデルにした子どもだけで運営する都市で、市民体験や職業体験を通して社会や経済のしくみを学ぶイベントです。

約半年前から、こどもの運営委員会やサポーター役の大人の運営委員会を開いて準備を重ね、試験的に「第0回」として開催しました。二日間で小学生102名が参加し、ラーメン店などの店員や新聞社、税務署などの仕事を体験しながらそれぞれの役割の中で仕事の仕方を工夫し、のコミュニケーションをとっていました。

「第0回」は船場まちづくり協議会主催で開催しましたが、次回「第1回」は新しく発足した「ミニミーノ実行委員会」の主催で2023年3月25日・26日に開催する予定です。

<https://minimi-no.com>



市長(右)と市長(中央)が対談